



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 オカダアイオン株式会社 上場取引所 東
コード番号 6294 URL <http://www.aiyon.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 祐司
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部門担当 (氏名) 前西 信男 TEL 06-6576-1281
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	6,355	11.9	620	15.1	714	25.8	493	30.0
2023年3月期第1四半期	5,678	21.8	539	25.5	567	31.2	379	27.2

（注）包括利益 2024年3月期第1四半期 423百万円（△33.5%） 2023年3月期第1四半期 636百万円（65.7%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	61.53	61.27
2023年3月期第1四半期	47.39	47.17

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	31,035	14,079	45.3	1,751.65
2023年3月期	30,594	13,961	45.6	1,736.90

（参考）自己資本 2024年3月期第1四半期 14,054百万円 2023年3月期 13,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	0.00	—	56.00	56.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	12,400	6.2	1,160	4.9	1,140	△2.5	760	△3.3	94.72
通期	25,500	8.2	2,300	17.0	2,250	14.7	1,500	6.1	186.94

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	8,378,700株	2023年3月期	8,378,700株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	354,947株	2023年3月期	354,947株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	8,023,753株	2023年3月期1Q	8,016,385株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済及び世界経済は、新型コロナウイルス感染に関する行動制限の緩和により経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調となりました。一方で、資源・エネルギー価格の高止まりや、インフレに伴う欧米の高金利政策の継続などにより、依然として、先行きの景気不透明感が続いています。

このような環境のもと、当社グループは長期ビジョン「VISION30」の方針のもと、国内では足許の堅調な解体・インフラ工事需要に対応した増産と生産性向上を軸にした生産体制強化を注力課題として取組み、開拓余力の大きな海外では拠点展開している米国・欧州・アジアでの営業体制強化を図るなど、更なる持続的成長と企業価値向上に注力してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,355百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益620百万円（前年同期比15.1%増）、経常利益714百万円（前年同期比25.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益493百万円（前年同期比30.0%増）となり、第1四半期連結累計期間の最高売上・最高利益を更新いたしました。

当第1四半期連結累計期間のセグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

国内セグメントは、引き続き解体環境アタッチメントを中心に高水準の受注残を維持しており、増産や商材の確保に注力してきた結果、売上高4,683百万円（前年同期比5.0%増）となりました。機種別には、主力の圧砕機は再開発やビル・工場等の建替等による解体需要が引き続き堅調で売上高1,803百万円（前年同期比5.3%増）、つかみ機は金属スクラップ処理や木造解体、災害復興等の需要が引き続き堅調で、大型スクラップローダーの納期ズレ解消もあり売上高376百万円（前年同期比68.2%増）となりました。同じく納期ズレの影響があった輸入商材の大型環境機械は売上高227百万円（前年同期比189.1%増）と回復傾向となりました。また、グループ連携による販売強化を進めている林業機械は、一昨年投入した「ハイブリッドバケット」の販売が好調で売上高474百万円（前年同期比118.2%増）となりました。

一方、ケーブルクレーン事業は再生可能エネルギーとして見直されている水力発電所の改修工事などは引き続き順調に推移していますが、昨年の第1四半期では大型案件のダム工事売上が計上されていたことなどもあり売上高316百万円（前年同期比59.5%減）と大きく数字を落としました。油圧ブレーカも売上高206百万円（前年同期比1.0%減）と微減となりました。アフタービジネスに関しては、原材料売上481百万円（前年同期比2.8%増）、修理売上高217百万円（前年同期比4.2%減）とほぼ横ばいとなりました。その結果、セグメント利益は鋼材価格の上昇等による利益圧迫要因などがあったものの、売上の増加が寄与し、447百万円（前年同期比8.4%増）と増益となりました。

海外セグメントは、売上高1,671百万円（前年同期比37.3%増）となりました。主力地域の北米では順調に経済活動が推移する中、子会社Okada America, Inc. では納期ズレの影響などで減収となりましたが、昨年末に経営統合したOkada Midwest, Inc. の売上が寄与した結果、売上高1,210百万円（前年同期比71.7%増）となりました。一方で欧州は昨年後半からの需要の減速影響もあり、売上高271百万円（前年同期比22.8%減）、アジア地域も全体的な市場の需要減の影響もあり売上高139百万円（前年同期比1.8%減）となりました。セグメント利益に関しては、Okada Midwest, Inc. 取得時の「のれん」の償却費などが発生していますが172百万円（前年同期比24.6%増）と増益を確保いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、31,035百万円（前連結会計年度末30,594百万円）となり440百万円増加しました。受取手形及び売掛金が729百万円、建設仮勘定が330百万円それぞれ減少しましたが、商品及び製品が484百万円、建物及び構築物が375百万円、土地が256百万円、原材料及び貯蔵品が190百万円、流動資産のその他が140百万円それぞれ増加したことが主な要因です。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、16,956百万円（前連結会計年度末16,633百万円）となり322百万円増加しました。流動負債のその他が219百万円、長期借入金が180百万円、賞与引当金が133百万円それぞれ減少しましたが、短期借入金が809百万円、支払手形及び買掛金が216百万円それぞれ増加したことが主な要因です。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、14,079百万円（前連結会計年度末13,961百万円）となり118百万円増加しました。剰余金処分の配当金支払304百万円を行いました。親会社株主に帰属する四半期純利益493百万円を計上したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階において2023年5月11日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の見直しを変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,124,222	3,155,858
受取手形及び売掛金	5,807,704	5,078,528
商品及び製品	6,328,916	6,813,351
仕掛品	407,421	400,129
原材料及び貯蔵品	4,403,763	4,594,529
その他	546,585	687,467
貸倒引当金	△3,131	△2,591
流動資産合計	20,615,484	20,727,273
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,405,253	3,780,360
機械装置及び運搬具(純額)	508,973	506,915
土地	3,092,121	3,348,202
建設仮勘定	879,824	549,557
リース資産(純額)	301,142	312,458
その他(純額)	44,186	48,588
有形固定資産合計	8,231,501	8,546,083
無形固定資産		
のれん	192,428	187,796
その他	469,569	436,216
無形固定資産合計	661,997	624,012
投資その他の資産		
投資有価証券	361,600	390,929
長期貸付金	230,000	230,000
繰延税金資産	397,873	397,038
その他	99,320	123,426
貸倒引当金	△3,273	△3,273
投資その他の資産合計	1,085,521	1,138,121
固定資産合計	9,979,021	10,308,217
資産合計	30,594,505	31,035,491

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,246,448	4,462,753
短期借入金	6,589,278	7,399,215
1年内返済予定の長期借入金	722,348	722,348
未払法人税等	345,407	255,975
賞与引当金	274,077	140,674
役員賞与引当金	69,780	900
株主優待引当金	43,195	22,115
その他	1,615,498	1,396,332
流動負債合計	13,906,033	14,400,314
固定負債		
長期借入金	1,980,320	1,799,733
退職給付に係る負債	553,509	564,602
その他	193,538	191,412
固定負債合計	2,727,367	2,555,747
負債合計	16,633,400	16,956,062
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,221,123	2,221,123
資本剰余金	2,280,478	2,280,478
利益剰余金	9,244,177	9,432,997
自己株式	△236,885	△236,885
株主資本合計	13,508,893	13,697,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,103	114,428
繰延ヘッジ損益	9,761	11,010
為替換算調整勘定	319,735	231,666
その他の包括利益累計額合計	427,600	357,104
新株予約権	24,610	24,610
純資産合計	13,961,104	14,079,428
負債純資産合計	30,594,505	31,035,491

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	5,678,352	6,355,514
売上原価	4,057,395	4,513,175
売上総利益	1,620,956	1,842,339
販売費及び一般管理費	1,081,862	1,221,785
営業利益	539,093	620,554
営業外収益		
受取利息	1,264	5,227
受取配当金	6,769	6,452
固定資産売却益	783	—
為替差益	44,347	135,215
持分法による投資利益	648	2,531
その他	7,363	6,393
営業外収益合計	61,176	155,820
営業外費用		
支払利息	10,742	33,850
固定資産除売却損	1,950	226
デリバティブ評価損	18,083	25,890
その他	1,824	2,138
営業外費用合計	32,600	62,106
経常利益	567,668	714,267
特別利益		
固定資産売却益	114,163	—
特別利益合計	114,163	—
税金等調整前四半期純利益	681,832	714,267
法人税等	301,943	220,545
四半期純利益	379,888	493,722
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	379,888	493,722

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	379,888	493,722
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,268	16,324
繰延ヘッジ損益	16,656	1,248
為替換算調整勘定	247,109	△88,069
その他の包括利益合計	256,497	△70,495
四半期包括利益	636,385	423,226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	636,385	423,226
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,460,426	1,217,925	5,678,352	—	5,678,352
セグメント間の内部売上高又は 振替高	183,707	3,233	186,940	△186,940	—
計	4,644,134	1,221,159	5,865,293	△186,940	5,678,352
セグメント利益	412,866	138,876	551,742	△12,649	539,093

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△12,649千円の内訳は、のれんの償却額△10,473千円及びセグメント間取引消去△2,176千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,683,645	1,671,869	6,355,514	—	6,355,514
セグメント間の内部売上高又は 振替高	117,095	3,358	120,454	△120,454	—
計	4,800,741	1,675,228	6,475,969	△120,454	6,355,514
セグメント利益	447,742	172,987	620,730	△176	620,554

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△176千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。